

知らないうちに、拡めちゃうから。



保健だより

えがお

氷見市立西條中学校
令和3年9月16日

まん延防止等重点措置解除 ステージ3継続中

- 新規陽性者数は減少傾向が見られるものの、ステージ3の基準を超過
- 医療体制のひっ迫は回避しつつあるものの、入院者数・重症病床稼働率もステージ3の基準を超過

まん延防止等重点措置解除後も、**ステージ3の措置を継続します**

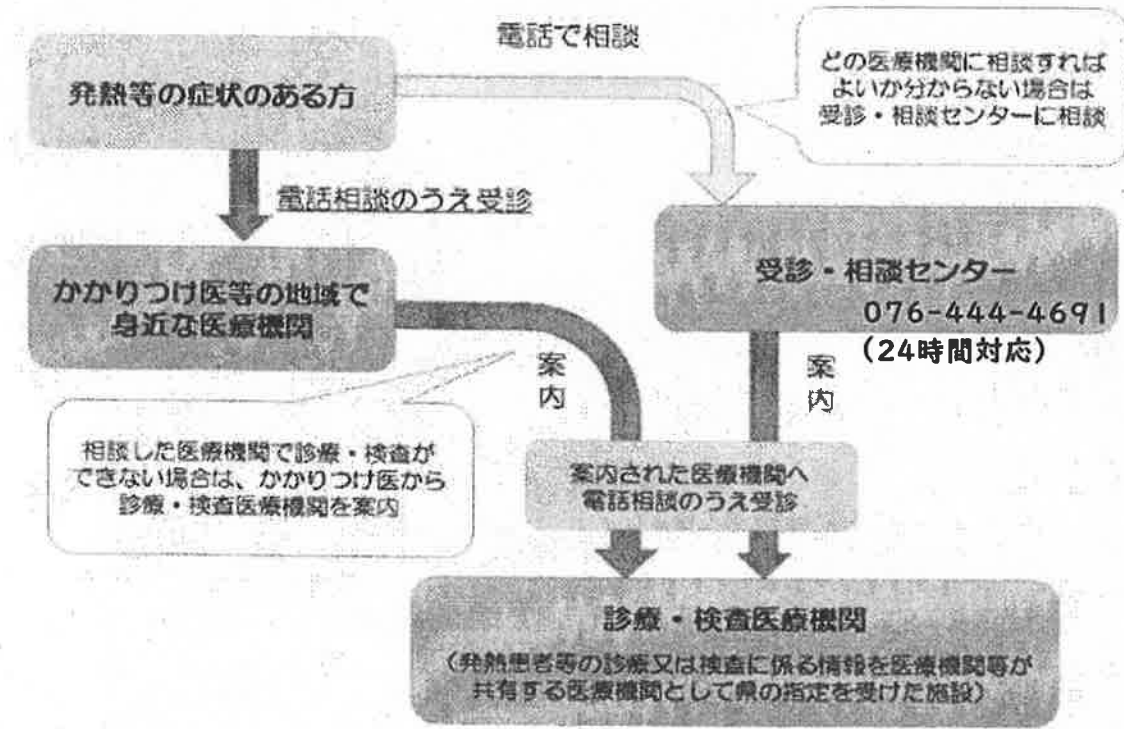
▶ 「まん延防止等重点措置」が9月12日で終了 しかし、まだ、ステージ3です。

まだまだ、油断は禁物です。ご家族も含め生徒の感染症対策等の徹底をよろしく願います。

発熱等がある場合の受診・相談方法について

発熱等の症状のある方へ

＜県のホームページより＞



- ・発熱等の症状がある方は、まずは、**かかりつけ医等の地域で身近な医療機関に電話**でご相談ください。相談する医療機関に迷う場合は、受診・相談センター 076-444-4691 (24時間対応) にご相談ください。
- ・医療機関を受診する際は、医療機関の指示に従いましょう。また、マスクを着用するほか、手洗いや咳エチケット（咳やくしゃみをする際に、マスクやティッシュ、ハンカチ、袖を使って、口や鼻をおさえる）の徹底をお願いします。

▶ 不織布マスクを推奨します。

米疾病対策センター（CDC）は、マスクに関する実験を行い、「不織布と布の二重マスクが、新型コロナウイルス感染予防効果が高い」と発表しました。

長引くコロナ禍にあって、マスクの着用は日常化し、今やマナーのひとつとなっています。マスク着用のもっとも**大きな意義は咳エチケット**です。日本の新型コロナウイルス感染症対策分科会は、咳や鼻水などの症状がある人が**飛沫を飛散させることを防ぐために、不織布マスクを積極的に着用することを推奨**しています。

マスクやフェイスシールドの効果						
【スーパーコンピュータ富岳によるシミュレーション結果】						
対策方法	なし	マスク			フェイスシールド	マウスシールド
		不織布	布マスク	ウレタン		
吐き出し飛沫量	100%	80% カット	66~78% カット	50% カット	20% カット	10% カット
吸い込み飛沫量	100%	70% カット	35~45% カット	30~40% カット	小さな飛沫に対しては効果なし (エアロゾルは防げない)	

▶ ワクチン接種等の取り扱いについて

先月、8月27日付けで学校長から配布した「新型コロナウイルス感染症対策について（お願い）」に記載されていたとおり、

- ① 発熱や倦怠感、のどの違和感などの風邪症状がみられる場合は、自宅で休養してください。この場合、出席停止扱いとし、欠席扱いにはなりません。
- ② 新型コロナウイルスのワクチン接種のために学校を休むとき、あるいは接種後に体調不良となったときは、出席停止扱いとし、欠席扱いにはなりません。

お願い

- 1 必ず学校にご連絡ください。
- 2 お子さんの健康管理をお願いします。
登校後、発熱や体調不良を訴えた場合は早退の手続きをとらせてもらいます。お仕事の場合もあるかもしれませんが、早急にお迎えをよろしく願います。

▶ 新型コロナウイルス感染症に関わる連絡について

- 生徒本人が感染者又は濃厚接触者となった場合は、速やかに学校にご連絡ください。
- 家族が感染者又は濃厚接触者となった場合は、速やかに学校にご相談ください。
- 感染の確認のためPCR検査を受け学校を休んだ場合、出席停止扱いとし、欠席扱いにはなりません。学校にご連絡ください。
- 新型コロナウイルス感染症に関する不安がある場合は、いつでも学校にご相談ください。